

「農村生活マイスター諏訪支部が料理教室を開催しました！第2回！」

長野県では、農家ならではの農業とライフスタイルの両立を楽しみ、発信する女性農業者を、“農村生活マイスター”として知事が認定しています。

農村生活マイスター協会諏訪支部では、本年度に地元の農産物を使用した料理教室「諏訪地域の食材で世界を知ろう」を計3回計画しています。

第2回となった今回は、11月7日に「ゆいわーく茅野」にて、ウィーンのお菓子の「アップフェルシュトゥルーデル」の料理教室を開催しました。使用したリンゴは、農村生活マイスターの松沢邦江さん（下諏訪町）が栽培した「紅玉」と「シナノゴールド」です。

当日は、講師となった農村生活マイスター 伊東麻紀さん（原村）が、薄く伸ばしたシュトゥルーデルタイク（生地）にパン粉やレーズン、リンゴなどのフルンク（具）を乗せ、春巻きのように巻いていき、バターをたっぷり使って、生地とバターを重ねオーブンでこんがり焼き上げて、サクサクとした食感に仕上げました。

諏訪地域から17名の参加があり、慣れない生地をこね伸ばす作業に戸惑いながらも、初めて作るアップフェルシュトゥルーデル作りや参加者同士の交流を楽しみました。

完成したアップフェルシュトゥルーデルは、相性ピッタリの紅茶と一緒に試食しました！

第3回は1～2月ごろ開催予定です。

